

東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた東京都の暑さ対策

○東京 2020 大会における都市運営に係る基本方針（抜粋）	1
○東京 2020 大会に向けた暑さ対策推進事業（環境局）	3
○平成 30 年度クールスポット創出支援事業（環境局）	4
○打ち水等暑さ対策の気運醸成（打ち水の普及促進）（環境局）	5
○「路面温度上昇抑制機能を有する舗装の整備」について（建設局）	6
○「街路樹の樹冠拡大による夏の暑さ対策」について（建設局）	8
○臨海部における暑さ対策について（港湾局）	10
○東京 2020 大会に向けたミスト整備の導入支援（水道局）	12
○Tokyowater Drinking Station（水道局）	13
(参考)	
○暑さ対策に係る関係府省庁等の主な取組（内閣官房オリパラ事務局）	14

東京 2020 大会における都市運営に係る基本方針

平成 30 年 3 月

東京都 オリンピック・パラリンピック準備局



(3) 暑さ対策

- **競技会場等周辺における暑さ対策の推進（環境局）**

競技会場周辺で、現に観光客等が多く集まる地域において、暑さ対策設備の整備に係る経費を補助しクールエリアを創出

- **クールスポットの創出支援（環境局）**

人が自由に入出りできる施設等の暑さを緩和する暑さ対策設備の整備に係る経費を補助しクールスポットを創出

- **打ち水等暑さ対策の気運醸成（環境局・下水道局）**

涼を得るための江戸の知恵である「打ち水」が、東京のおもてなしとして定着することを目指して、「打ち水日和」と銘打った打ち水キャンペーンを展開するほか、暑さ対策設備を体験する場を提供することでその普及を促進する。

なお、下水道局では打ち水に使用する「再生水」の提供を行う。

- **遮熱性舗装の整備（建設局）**

都道において、センター・コア・エリアを中心とした重点エリア内で想定される路上競技コース（車道）について、遮熱性舗装等を整備する。

併せて、想定される競技会場周辺・路上競技コース等（車道）に遮熱性舗装等を実施する区市に対して補助を行い、整備を促進する。

- **街路樹の樹形拡大による夏の暑さ対策（建設局）**

路上競技コースに想定される路線や主要競技会場までのアクセスルートとなる路線について、夏の強い日差しを遮る木陰を確保するため、樹形を大きく仕立てる計画的な剪定を進める。

- **臨海部における道路の遮熱性舗装等の整備（港湾局）**

臨海部における道路の暑さ対策として、大会競技の路上コース（トライアスロン）に予定されている台場地区の車道上に遮熱性舗装を整備する。

競技会場周辺の観客動線となる歩道に日差しを遮る緑陰を確保する。

また、臨海副都心内の駅前広場、シンボルプロムナード公園等で、暑熱対応設備について効果検証の上で導入を図るなど、暑さ対策に向けた取組を更に推進する。

- **東京 2020 大会に向けたミスト設備の導入支援（水道局）**

環境局が実施する「クールスポット創出支援事業」等により微細ミスト設備を設置する区市町村、事業者（法人、個人）を対象に、水道に関する技術サポート、水道料金の減免等の支援を行う。

- **競技会場等における仮設水飲み場の設置（水道局）**

競技会場となる武蔵野の森総合スポーツプラザ等に仮設水飲み場を設置し、水道水の飲用機会を創出する。

東京 2020 大会に向けた暑さ対策推進事業

(環境局)

事業の背景・目的

- ・東京では、猛暑日や熱帯夜が増加するなど夏の暑さが課題となっており、また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催といった観点からも、暑さ対策を進めていく必要
- ⇒東京2020大会競技会場周辺で観光客等が多く集まる注目度が高い地域において、人の感じる暑さを緩和するクールエリアを創出
- 併せて、この取組を通じ、多様な主体による暑さ対策を誘導・促進

補助制度の概要

- ・東京2020大会会場周辺で観光客等が多く集まる地域※において、先進技術等を有する暑さ対策設備の整備に係る経費を補助 <<補助率：10分の10>>
- ※ 地域は、区市が申請したものを都が審査し決定
- ・事業目標：平成31年度（2019年度）までに6か所程度のクールエリアを創出
- ・平成30年度予算額：1億円（1地域あたり5,000万円 × 2か所）
- ・設置場所の条件：人が自由に入出りできる場所又は公共交通機関の施設等（補助対象設備例）
- 高反射性・遮熱性等を有する日よけ、微細ミスト設備、遮熱性・保水性舗装 等及び これらと共に整備する緑化設備

(平成29年度 補助対象)

対象区市	(1) 中央区	(2) 調布市
補助対象地域	<ul style="list-style-type: none"> ・銀座、京橋、日本橋、日本橋室町に係る中央通沿いの区域 ・数寄屋橋公園 	<ul style="list-style-type: none"> ・京王線飛田給駅公共通路 ・飛田給駅から国道20号線までの調布市道主要33号線（通称スタジアム通り）及びその沿道
近接する東京2020大会会場	<ul style="list-style-type: none"> ・東京国際フォーラム 	<ul style="list-style-type: none"> ・東京スタジアム ・武蔵野の森総合スポーツプラザ
暑さ対策設備の整備事例	<ul style="list-style-type: none"> ・微細ミスト付パラソル ・フラクタル日除け 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・パーゴラ及び微細ミスト ・歩道の遮熱性舗装 等

(平成30年度 補助対象)

対象区市	(1) 千代田区	(2) 港区
補助対象地域	<ul style="list-style-type: none"> ・大手町・丸の内・有楽町周辺 	<ul style="list-style-type: none"> ・新橋一丁目及び二丁目 ・台場一丁目及び二丁目
近接する東京2020大会会場	<ul style="list-style-type: none"> ・東京国際フォーラム 	<ul style="list-style-type: none"> ・東京国際フォーラム ・お台場海浜公園
暑さ対策設備の整備事例	<ul style="list-style-type: none"> ・微細ミスト及び熱線反射フィルム ・微細ミスト及び減熱ベンチ 	<ul style="list-style-type: none"> ・微細ミスト及び遮熱性テント ・微細ミスト及び日除け 等

平成 30 年度クールスポット創出支援事業

更新日：2018 年 2 月 9 日

東京では、都市化の進展等によりヒートアイランド現象が継続しており、また、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向け、都民や観光客への暑さ対策が重要な課題となっています。

そこで、都は、省エネや緑化の推進といったこれまでのヒートアイランド対策に加えて、人の感じる暑さを緩和する対策として、暑熱対応設備の設置に対する補助制度を平成 27 年度から開始し、クールスポットの創出を促進しています。

平成 30 年度も当補助制度を実施し、都民や観光客等が涼しさを感じる場所を増やしていきます。

補助概要

<補助対象者>

区市町村・事業者（法人・個人）

<補助対象設備>

- 人が自由に入出りでき又は公共交通機関等であること
- 暑熱環境を緩和する効果を有する暑熱対応設備であること
- 人が通行や休憩等をする際の暑さを緩和することを主な目的とするもの
（主な対象設備） ひさし、微細ミスト設備、遮熱性・保水性舗装 等
及び これらと共に整備する緑化設備
- 平成 31 年 3 月 15 日までに設置工事を完了するもの

<補助額>

対象経費： 設備の設置に要する経費（設備費、工事費）

補助率： 対象経費の 2 分の 1（上限 5,000 千円）

<予算額>

40,000 千円

【参考】 [申請の流れ \(PDF : 160KB\)](#)

微細ミスト設備を設置する場合の水道に関する技術サポート及び料金の減免等

- 水道局では、微細ミスト設備の設置・届け出に当たっての相談（技術サポート）を受け付けます。
- 水道局では、クールスポット創出支援事業で微細ミスト設備を設置した場合、水道料金の減免適用があります。
詳細は、[水道局ホームページ \(外部サイト\)](#) をご覧ください。
- 下水道局では、下水道料金について減量制度が適用される場合があります。
詳細は [下水道局ホームページ \(外部サイト\)](#) をご覧ください。

打ち水等暑さ対策の気運醸成（打ち水の普及促進）

事業の目的

涼を得るための江戸の知恵である「打ち水」が、東京のおもてなしとして定着することを目指して、「打ち水日和」と銘打った打ち水キャンペーンを展開

「打ち水日和 ～江戸の知恵・東京のおもてなし～」の実施

【平成30年度実施概要】

(1) 都主催打ち水イベントの開催

- ・日 時：平成30年7月23日（月） 【雨天・取水制限時は中止】
- ・場 所：東京ミッドタウン日比谷（15：15～16：15）
- ・内 容：打ち水セレモニー（一斉打ち水）等
- ・共 催：打ち水大作戦本部
- ・協 力：オリンピック・パラリンピック等経済界協議会、
日比谷 打ち水月間実行委員会

(2) 「打ち水実施団体」の募集

夏の間（7～9月）に打ち水を実施する団体（企業やグループ等）を募集し、都内各所での二次利用水を活用した打ち水の実施を呼びかけ

実施団体・参加者には、「打ち水グッズ」を提供、気運を醸成

※打ち水グッズ…はっぴ・のぼり・折りたたみバケツ・ひしゃく・手ぬぐいハンカチ

※二次利用水…再生水や雨水、お風呂の残り湯などの水

【主な打ち水実施団体】

オリンピック・パラリンピック等経済界協議会、ワイドコラボ協定締結企業、
区市、都立公園、小学校 など

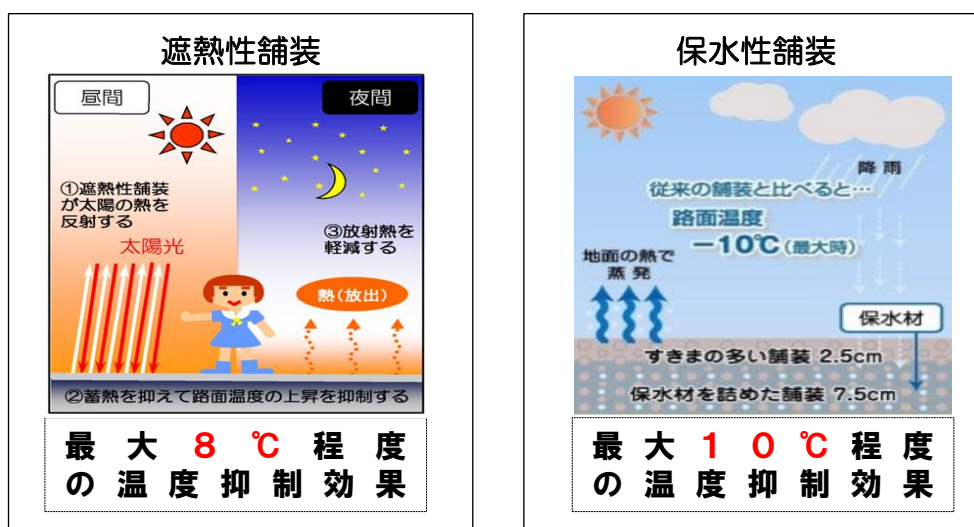
広報展開

- 専用ホームページの開設（ツイッター、インスタグラムとの連携）
打ち水実施団体からの写真等の提供
- 打ち水実施団体の取組動画の作成、デジタルサイネージでの放映 など

「路面温度上昇抑制機能を有する舗装の整備」について

1 概要

- 東京2020大会に向けた道路の暑さ対策のひとつとして、都道において、2020年までに、路面温度上昇抑制機能を有する遮熱性舗装等を累計約136km整備する



- 平成29年度末、遮熱性舗装(約96km)・保水性舗装(約20km)累計約116km整備済

2 整備方針

◎整備箇所

- 現道上で実施する競技コース(マラソン・競歩など)
- 競技会場周辺の道路等
(新国立競技場、東京国際フォーラムなど)
(周辺における観客の主な動線となる道路等)

◎整備手法

- 都 道：路面補修工事にあわせて整備
- 区市道：遮熱性舗装等に対する対象区市への都費補助
(各区市が主体となり整備)

◎調整事項など

- 他事業との連携（自転車走行空間、無電柱化、バリアフリー等）
- 今般発表されたマラソンコース等を基に、着実に整備を進める

3 今後のスケジュール

H29まで	H30	H31	H32
【都道】 約116km 整備済	遮熱性舗装・保水性舗装の整備（約136km）		東京2020大会
	10km	10km	
	区市道への整備補助		

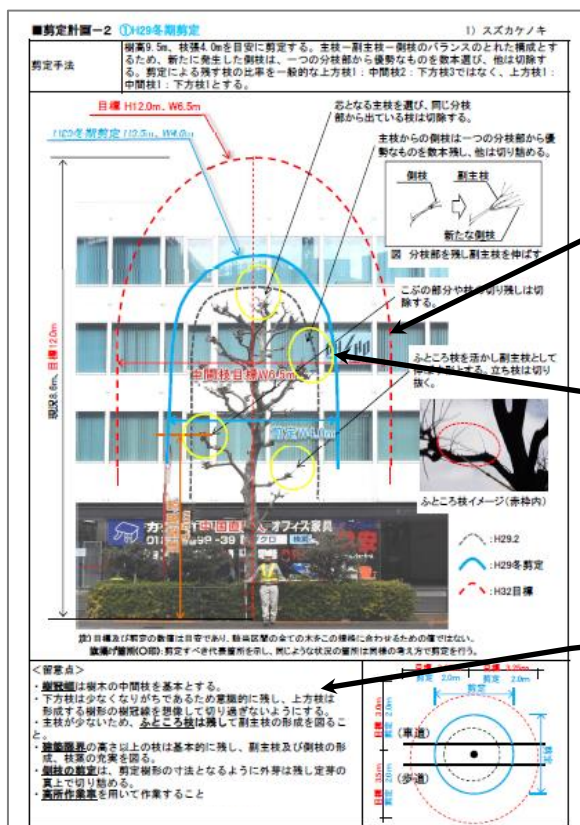
「街路樹の樹冠拡大による夏の暑さ対策」について

1 暑さ対策の概要

- 東京 2020 大会に向け、マラソンコースとなる路線や主要競技会場までのアクセスルートとなる路線について、夏の強い日差しを遮る木陰を確保するため、樹形を大きく仕立てる計画的な剪定を進める。

2 平成 29 年度までの取組

- 「街路樹等現況基礎調査委託」を発注し、対象路線の環境特性（歩車道幅員、周辺の土地利用状況など）や街路樹の現況（樹種、樹高、樹形）を把握し、取組が必要な箇所を抽出
- 抽出した箇所において、今後 3 年間の剪定手法を具体的に示した維持管理計画書を作成し、計画的な剪定に着手



2020年の目標樹形
(破線で表示)

その時期の剪定で
目指す樹形

剪定にあたっての注意事項
を具体的に列挙
(残すべき主枝を選択して
残りの枝を切除する、
など)

維持管理計画書例 (靖国通り、スズカケノキ)

3 平成 30 年度以降の取組

- ・ 引き続き、剪定委託発注時点から維持管理計画書の特記仕様書に添付するとともに、樹種毎に街路樹剪定士指導員による見本剪定を実施し、本計画書に基づいた計画的な剪定を実施
- ・ 併せて、維持管理計画書の想定樹形と実際の樹形とを比較検証し、検証結果を計画書に反映しながら、平成 32 年度に向けて計画的に街路樹の剪定を行う。
- ・ 剪定水準の確保・向上に向け、一部対象路線の剪定委託に総合評価方式を試行導入し、評価項目の検討等を行った上で、総合評価方式の拡大等を検討していく。

臨海部における暑さ対策について

1 概要

- ・真夏に開催される東京 2020 大会に備え、主要会場である臨海部の暑さ対策を実施

2 整備内容

- 臨海副都心内の駅前広場の歩道部に、水を蓄える機能を有する保水性ブロックを整備
- シンボルプロムナード公園等で、暑熱対応設備を試行設置し、大会までに整備
- 大会競技の路上コースに予定されている台場地区の車道上約 2.5km に遮熱性舗装を整備
- 競技会場周辺の観客動線となる歩道に日差しを遮る緑陰を確保



写真 保水性ブロックの舗装面

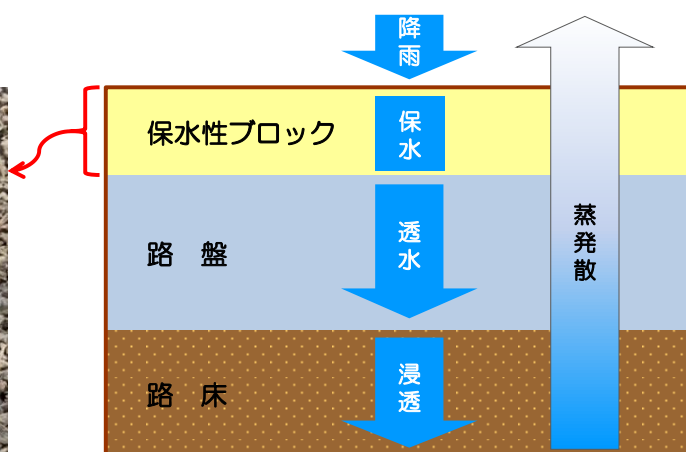


図 保水性ブロックのイメージ



写真 暑熱対応設備のイメージ

3 今後のスケジュール

	H29 まで	H30	H31	H32
駅前広場における保水性ブロックの整備		工事		
シンボルロード公園における暑熱対応設備の整備	調査・検証	設計 試行設置	工事	東京2020大会
遮熱性舗装	調査・検証	工事・効果検証等 約 2.5km		
緑陰形成	調査・検証	工事・効果検証等		

東京 2020 大会に向けたミスト設備の導入支援

東京 2020 大会に向けた暑さ対策、涼しさの提供のため、微細ミスト設備を導入する事業者を支援します。

1 支援対象者

都環境局が実施する「[クールスポット創出支援事業](#)」、「[東京 2020 大会に向けた暑さ対策推進事業](#)」等により微細ミスト設備を設置する区市町村、事業者（法人、個人）

2 支援の内容

（1）水道に関する技術サポート

微細ミスト設備の設置に当たり、給水装置に関する技術サポート（相談等）と工事内容の確認を行います。

（2）水道料金の減免

微細ミスト設備の設置後、一定期間にわたって、ミストで使用した分の水道料金について減免（1/2）します。

なお、東京 2020 大会期間中のミスト使用分については、全額を減免します。（[詳細](#)）

詳しくは、下記の連絡先へお問い合わせください

問い合わせ先

水道に関する技術サポートについて

水道局給水部給水課

- 電話 03-5320-6431

水道料金の減免について

水道局サービス推進部管理課

- 電話 03-5320-6424

Tokyowater Drinking Station

公共性の高い場所に設置されている水飲栓及びイベントの際に水道局が設置する可動型水飲栓で、AR対応ステッカー等による情報発信機能を備えたものをTokyowater Drinking Station（以下、DSという。）として展開しています。

DSにより水道水の飲用促進、またそれを通じた環境配慮行動の促進を図っていきます。



ARによる情報発信

水道局の取組を理解し、親しんでいただくために、ARを使った情報発信を行っています。専用アプリ「ARcube」をダウンロードして頂き、DSに貼付した「東京水」ロゴを読み取ることでPR動画等のコンテンツを見ることができます。なお、コンテンツは定期的に更新しています。



AR機能付東京水ステッカー



PR動画の例

暑さ対策に係る関係府省庁等の主な取組

平成30年6月7日
内閣官房オリパラ事務局

1. 競技会場等の暑さ指数の測定

環境省において、大会期間中における熱中症予防に必要な情報の充実に向け、平成29年度より競技会場等の14地区程度を対象に暑熱環境の実測調査を行うとともに、暑さ指数の推計手法の検討を開始。

2. 暑さ対策に係るガイドライン等の策定と周知

環境省において、「夏季のイベントにおける熱中症対策ガイドライン2018」、「まちなかの暑さ対策ガイドライン(改訂版)」、「熱中症環境保健マニュアル2018」等を策定。自治体やホームページで広く周知するとともに、その利用を促進する。

3. 大会運営における会場別・競技別の暑さ対策の検討

組織委員会において、環境省が行う暑さ指数の測定結果やガイドライン等を踏まえ、29年度に有識者会議等での議論を経て暑さ対策のモデルケースを策定。30年度は会場別・競技別対策の具体化に取り組む。

4. マラソン、競歩沿道等の暑さ対策

国土交通省の「アスリート・観客にやさしい道の検討会」において取りまとめられた、総合的な道路空間の暑熱対策の今後の方向性を踏まえ、国土交通省は関係機関と連携し、路面温度の上昇を抑制する機能を有する舗装や道路緑化等の必要な対策を推進する。

5. 外国人向け熱中症関連情報の発信

日本の夏の暑さに慣れていない外国人に対して、関係機関が連携し、訪日前からのきめ細かな情報発信を行う。また、観光庁において引き続き、災害時情報提供アプリ(Safety tips)によるプッシュ型の熱中症情報の発信、熱中症についての解説や外国人受入可能な医療機関情報を発信する(英中韓)。

主な取組

- ・在外公館や日本政府観光局のウェブサイトによる訪日前の外国人向け情報発信
- ・航空機内の動画ニュースや機内誌の活用(英語)
- ・環境省、気象庁、消防庁、東京都ウェブサイトにおける発信(英中韓など)
- ・訪日外国人が利用する施設におけるリーフレットの配布(英)

6. 救急医療体制の整備

消防庁において、多言語音声翻訳アプリ「救急ボイストラ」の普及促進、消防庁ウェブサイトに掲載している救急車利用ガイドの対応言語の拡大や当該ガイドの周知を図る。また、「訪日外国人旅行者受入れ医療機関」の更なる充実を推進する。